

市総合防災訓練に参加

重機活用して障害物を撤去



訓練に参加した橋川草津市長（前列左から4人目）と辻防災委員長（同3人目）、山本副理事長（同5人目）及び市内業者会一同

草津市を拠点とする建設関連事業者でつくる特定非営利活動法人「草津の安全・福祉・災害救援活動を推進する市内業者会」（略称「NPO法人草津市内業者会」）理事長・森川守（樹）千商代表取締役）は15日、草津市の渋川小学校で行われた「草津市総合防災訓練」に参加した。

草津市総合防災訓練は、

NPO草津からは防災委員長の辻由夫副理事長、山

防災資機材や災害時備蓄の充実、消防署・消防団の強化、各種防災団体との支援協定など災害初動体制を維持し、大規模地震から市民の生命・財産を守るため、

各々の役割を確認するとともに住民参加を主とする避難訓練、体験訓練や協定団体との実動連携訓練を取り入れ、総合防災力の一層の向上を図る。

本雅将副理事長をはじめ17名が「災害実動訓練」に協力・参加。地震に伴い家屋が倒壊、道路に通行障害が

発生し火災危険もあることを想定し、住民、医師会、警察、消防、市と連携し訓練。NPO草津は道路に通行障害となっている障害物を、重機を活用して撤去作業にあたった。

また、去る7日に開かれた市民活動団体交流イベント「パワフル交流・市民の日」において、草津市建築課と共同で実施した「これで安心！あなたの住まいの地震対策」啓発事業を訓練当日も実施。会場の一角に相談ブースを設け、市民からの住宅の耐震化に関する相談に、専門家の相談員がわかりやすく回答した。